

④仲原家の特徴等

ア. 外観・配置等

敷地面積 およそ 750 m²(227 坪)



①正面入り口階段

屋敷の入口には階段が設けられている。



②仲原善忠生誕の地の碑

平成 22 年度「仲原善忠生誕 120 年記念事業」にて建立。



③正面(南側)の石垣

石垣の高さは 1.5m 程。石垣の高さにあわせて盛土がしてあり、その上にソテツ等が植えられている。仲原善忠生誕の地の碑もここに設置。

⑥ヒンブン

仲原家のヒンブンは、生垣になっている。生垣は伸び放題で、正面からはヒンブンに隠されて家屋は見えない。



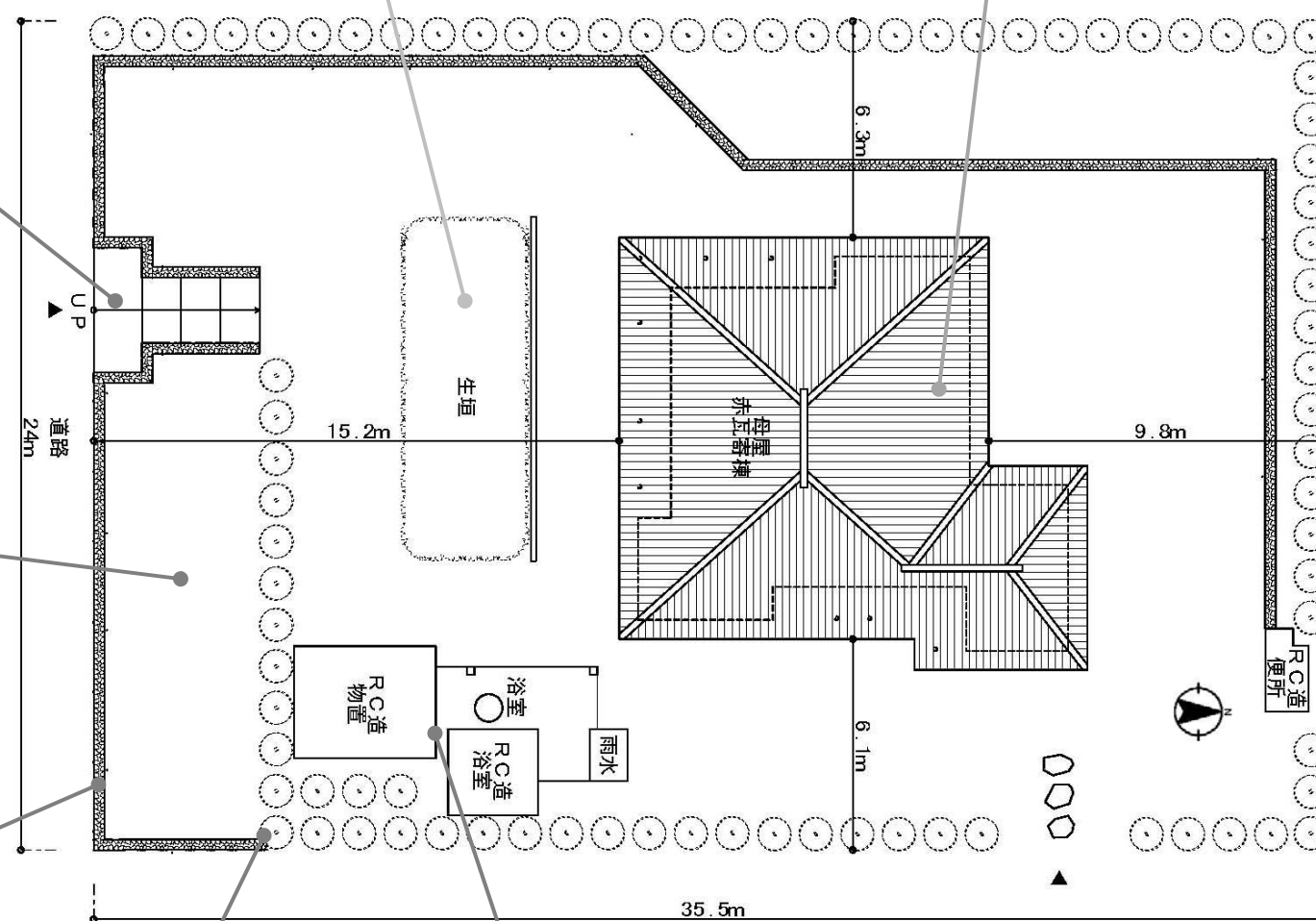
⑦主屋

屋根は寄棟で、赤瓦が葺かれている。鬼瓦を使用。屋根勾配は 4.5 寸。三方に雨端を設ける。雨端柱にはイヌマキを使用。



⑧屋敷囲い(西側・北側・東側)

多様な植物で囲われている。



④東側の石垣・フクギ林

あいかた積みの石垣とフクギで囲われている。



⑤主屋脇の物置等

主屋とは別に RC 造の物置や浴室が設けられているが、使われておらず朽ちかけている。

【外観・配置等の特徴】

- 緻密な石垣およびフクギ林で囲まれており、外観のインパクトが大きい。また、正面入り口に階段が設けられており、格式の高さを伺わせる。
- 南側（正面）及び東側は高さ 1.5m 程の石垣（あいかた積み）とフクギで囲まれ、北側と西側はフクギやヤシが生い茂っている。
- 石垣・フクギ等、多量植生のおかげか、敷地内は県道沿いにもかかわらず、静かな空間を構成している。また、道路からは敷地内部を見通すことはできない。

イ. 間取り等

建築面積 およそ 106 m²(6 間×5.5 間)



①西側の縁側
西側には雨端が設けられている。



②一番座(広さ 6 畳)
床の間には何も置かれていない。鴨居には、
写真が飾られている。



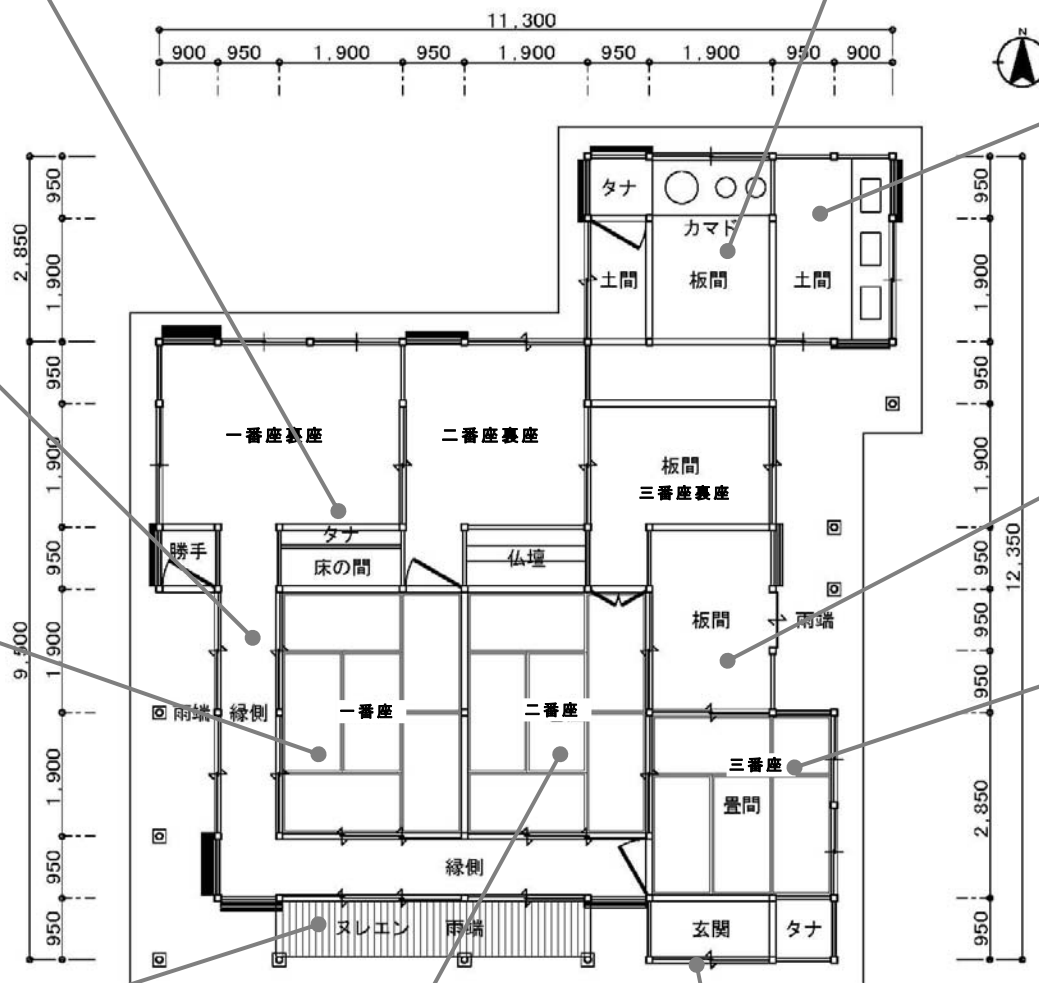
③北側雨端と濡縁
南側にも雨端が設けられており、雨端柱ぎりぎりまで濡縁が設置されている。



⑥一番座裏座
作り付けの棚は使用可能である。



⑦台所
かまどがあり、現在でも使用可能。かまど前は板間に、流しや棚の前は土間になっている。



⑧三番座・三番座裏座
東側の窓はガラス戸になっている。



④二番座(広さ 6 畳)
仏壇に位牌はない。



⑤玄関
三番座前に玄関(引き戸)が設置されている。

【間取り・内装等の特徴】

- 間取りはいわゆる「逆勝手」となっており、西に一番座、東に台所を構える。仲原家東側を道路が走っているため、そのような間取りになったと考えられる。また、三番座前に玄関を設けており、戦後の様式が伺える。
- 台所にはかまどがあり、手入れがよく、現在でも使用できる。
- 建物は傷みも少なく、全体的に美観を保っている。作り付けの棚等も使用可能。
- 平均的な木造家屋よりも敷地面積が広く、使い勝手がよいと考えられる。